

第2回 学校評価結果のお知らせ

松山市立姫山小学校 <http://himeyama-e.esnet.ed.jp/>

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。2学期末に行った児童アンケート、保護者アンケート、教職員自己評価の結果についてお知らせいたします。今回の結果を教職員で共通理解し、今後の教育活動に活かしてまいります。

なお、本結果は、ホームページにも掲載しています。

1 評価結果

【評定】 4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない
【肯定率】 評定4と評定3の合計値(%)

番号	対象	質問項目	1学期		2学期	
			肯定率 (%)	評定平均	肯定率 (%)	評定平均
1	児童	楽しく学校に通っている。	95	3.6	94	3.6
	保護者	お子様は、毎日楽しく学校生活を送っている。	95	3.5	96	3.5
	教職員	教育目標「自ら学び、ともに生きるたくましい姫山っ子の育成」の実現に向け、効果的な教育活動を実施している。	100	3.5	100	3.4
2	児童	授業は楽しく分かりやすい。	92	3.5	95	3.5
	保護者	お子様は、授業内容をよく理解し、楽しく学習に取り組んでいる。	87	3.1	89	3.2
	教職員	一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	96	3.4	90	3.3
3	児童	パソコン(タブレット)や投影機を使った授業は楽しく、分かりやすい。	94	3.6	96	3.7
	保護者	学校(先生)は、授業の中でパソコン(タブレット)や実物投影機等の情報機器を効果的に活用している。	99	3.4	98	3.5
	教職員	教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的にICTを活用している。	88	3.4	100	3.6
4	児童	テストのできなかったところを見直したり、間違いを直したりしている。	89	3.4	89	3.5
	児童	宿題などの家庭学習や読書を、毎日がんばっている。	85	3.4	90	3.4
	児童	進んで体を動かし、体力づくりにはげんでいる。	81	3.3	83	3.3
	保護者	お子様は、家庭で学習や読書を頑張っている。	81	3.1	81	3.1
	教職員	児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	96	3.5	95	3.5
5	児童	友達に優しくし、仲よく過ごしている。	94	3.6	95	3.6
	保護者	お子様は、思いやりをもち、友達と仲よく過ごしている。	95	3.4	96	3.4
	教職員	人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てる。	100	3.7	100	3.8
6	教職員	「学校のきまり」(学校生活のしおりに記載)など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。	100	3.6	100	3.7
7	児童	進んで学習や仕事をし、将来の夢に向かってがんばっている。	88	3.3	88	3.4
	保護者	お子様は、進んで手伝いや仕事をするなど勤労意欲を高めたり、将来の夢に向かって努力をしたりしている。	64	2.7	69	2.8
	教職員	将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	96	3.2	95	3.2

8	児童	学校は、きれいで安全な環境になっている。(安全な学習の場、けがの予防、避難訓練、交通安全)	96	3.7	96	3.6
	保護者	学校は、交通安全やけがの防止に関する指導、警報発表等の非常変災時の適切な対応等、安全な環境づくりに努めている。	99	3.4	99	3.5
	教職員	児童に交通安全やけが等の防止、非常変災時について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	94	3.2	100	3.7
9	児童	「早寝・早起き・朝ご飯」・手洗いなど自分の生活や健康に気を付けている。	87	3.4	86	3.3
	保護者	お子様は、自分の生活や健康に気を付けるなど、基本的生活習慣が身に付いている。	89	3.2	87	3.1
	教職員	個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。	100	3.3	100	3.7
10	児童	先生は、親切に相談にのってくれる。	96	3.7	96	3.6
	児童	先生は、自分のよいところを認めてくれる。	97	3.7	95	3.6
	保護者	学校(先生)は子どもたちのことによく理解し、一人一人を伸ばそうとしている。	93	3.3	95	3.5
	教職員	特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	100	3.4	100	3.7
11	教職員	管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	100	3.8	100	3.7
12	教職員	子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	96	3.6	100	3.5
13	児童	ふるさと姫山のことを学ぶのは楽しい。	91	3.5	92	3.5
	児童	学校の行事や活動は楽しい。	96	3.7	95	3.7
	保護者	学校(先生)は、保護者や地域と連携して地域の特性を生かした行事や活動を実施し、子どもたちも楽しく活動している。＊連携：学年活動時の地域の講師や保護者ポランティア等	96	3.6	98	3.4
	教職員	教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	92	3.4	100	3.7
14	保護者	学校は、お知らせ文書や学年・学校だより、ホームページや MAC メール等により、積極的に情報を発信している。	97	3.4	93	3.5
	教職員	お知らせ文書や学年だより・学校通信、ホームページや totoru 等により、積極的に情報を発信している。	92	3.2	85	3.2
15	保護者	学校(先生)は、授業の中で板書(黒板)を工夫したり、教室・校内の掲示物を充実させたりしている。	99	3.5	99	3.5
	教職員	言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	100	3.4	100	3.5
16	教職員	小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	80	3.0	80	3.0
17	教職員	教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	80	3.0	80	3.0

2 アンケートの考察

- 全体的に、1学期からの変容は見られない。
- 項目2では、児童・保護者の肯定率が上昇したものの、教職員の肯定率が低下した。授業の質を向上できるよう、教職員の意識を高めていきたい。
- 項目3では、全体的に高い水準を推移している。今後もアナログとデジタルを併用した学習を継続していく。
- 項目4、9の家庭学習、運動、基本的生活習慣に関しては、肯定率が80%台の項目があり、他の項目と比較しても低い。例年、同様の傾向が見られる。学校と家庭の連携を密に図りながら、改善にあた

- つていきたい。
- 項目7のキャリア教育に関する評価が今年度も低い傾向である。学校においてはキャリアパスポートなどを活用しながら将来の自分について考えていけるような工夫を展開していく。
 - 項目14のお知らせ文書や学校だよりの発信についての保護者の肯定率が若干低下した。テトルによる情報発信を含め、紙媒体での配付も行いながら、保護者にとって分かりやすく関心のもてる内容にしていく。また、学校からの配信も継続して行っていけるようにしたい。
 - 項目16・17については、幼・保・小・中の連携を図る機会を設けて、小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげていきたい。

3 保護者の皆様からのご意見と学校の回答

貴重なご意見をありがとうございました。ご意見の中に、教職員への励ましのお言葉がたくさんありました。教職員一同お礼申し上げます。

下に、ご意見と回答をまとめました。限られた紙面ですので、全てのご意見に回答させていただくことは困難なことをご理解いただきますようお願いいたします。なお、同じご意見が複数の場合や長文の場合は、簡略させていただいていることもご了承ください。

- 毎日、大好きな先生に会えることを楽しみに登校しています。最近は、何をするにも自分でしっかりと考え積極的に行動し意見を言える姿が増えました。これも日頃からの先生の声掛けや対応のおかげだと思っております。いつもありがとうございます。
- 人見知りなどころもあり、先生と話すことがまだ恥ずかしいようですが、そんな娘にも丁寧に声を掛けていただいており、ありがとうございます。毎日楽しそうに登校している姿を見ると安心します。
- 毎日楽しそうに学校に通っています。家では、学校で学んだことを教えてくれていて、特にタブレットを使った授業などは、よく教えてくれる気がします。班の友達と意見を出し合ながら発表のたたき台を作ったり、英語の授業でタブレットを使って注文に合わせたピザの絵を作ったりしたことなど楽しそうに教えてくれます。
- 家で学校でのことを話してくれるのですが、私ももっと子どもに関わってよい大人になれるように見守りつつ、力になりたいと思います。
- 6年間、学校を嫌がることなく、楽しく通っています。高学年になり、自主性をつけるよう、先生方が指導してくださっており、子どもも、少し先を考えて行動するようになっています。ありがとうございます。
- 体調不良で休むと授業が受けられないため、家で自分でやってみても難しいところもあり、登校して帰ってきたら「やっぱり授業が最高」と言っていました。来年も持ち上がりしてほしいと言うくらい、先生のことを慕っているようです。本当に見てもらっていることが伝わり、ありがとうございます。
- 運動会、修学旅行と大きな行事が無事に、そして何より充実したすばらしい時間となりましたこと、御礼申し上げます。先生方のご尽力のおかげです。
- 子ども同士のトラブルが起きた際には、その場しのぎではなく根本的な解決に向けて丁寧に対応してくださり、常に子どもの意思を尊重して関わっていただいている。心より感謝しています。
- いつもお世話になっております。学校に行くのが楽しいと学校での出来事を楽しそうに話してくれています。保護者としても安心して学校に送り出せています。
- この環境が続いてほしいです。
- 九九の壁をひとまず乗り越えられてほっとしています。子どもがやる気になるようなご指導をしていただいてありがとうございました。

	ご意見	学校の回答
教育活動全般	○ パソコンの利用については子どもが自分で制御できるような授業も取り入れてほしいと思います。	学年の実態に応じて、毎年インターネットに関する授業を行っています。
	○ 土曜参観のアナウンスについて(4月、11月)。周りの保護者の方たちがお話ししているので、放送の声がほとんど聞こえません。兄弟がいると、どちらのクラスに迎えに行けばいいか分からぬのに放送も聞こないので困りました。	放送での周知の仕方を工夫していきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 船の国集会は、他の学年とも交流できとても工夫されたものでよかったです。保護者の待ち時間が長かった。1年生のお店屋さんもお客様があまり来ない時間もあったので、ペア学年で交代しながらするとか、2時間(45分×2)の参観を30分×2の授業でもよいのかなと思いました。 	来年度の検討事項とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭訪問は希望者だけでも実施してほしい。家庭訪問でなくても、新年度当初に個別懇談会等、保護者と先生が話せる時間を取ってほしい。 	保護者との懇談の機会は大切なものと考えております。個別懇談会等でなくても気になることがありましたら、学校へご連絡いただければと思います。
荷物	<ul style="list-style-type: none"> ○ ランドセルが重たく、特に月曜日は荷物が多いので、今認められている理科・社会・音楽等以上に、国語や算数でも使わない冊子の置き勉を認めていただけすると助かります。 	国語や算数においては、家庭学習に必要であると考えられます。曜日によってはたくさんの荷物がありますが、なるべく計画的に持参できるよう、努めています。
連絡・テトル	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画帳はノートがよい。 ○ タブレットの計画帳が送られてくるのが遅い時があり、帰宅後すぐに宿題ができないことがあります。塾や習い事があり、あまり時間がなく、すぐ取り掛かりたいため早めの送信お願いします。 ○ もう少し連絡事項(いるものやこの日何をするのか)は細かくテトルなどで発信すべきだと思う。 	<p>教育活動の時間確保、子どもたちへの負担減などを考慮し、タブレットでの配信をしています。ご理解をお願いします。</p> <p>タブレットの送信につきましては、送信の予約機能を使ったり、早めに送信をしたりして対策は取っております。日頃から教員間で声掛けを行い、未然防止に努めています。</p> <p>連絡事項が必要なものについては、テトルを活用してより分かりやすくなるようにしていきます。</p>
送迎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 送迎の車の問題ですが、運動場を開放してはどうでしょうか。 	登下校時の車の乗り入れは特別な事情がある場合に限り、認めております。運動場の開放は、運動場維持や子どもの安全の観点から、難しいと判断します。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達から蹴られたりしているのが心配です。 ○ 残念ながらいじめが日常にあるクラスだと思います。 	教職員一同、日常の子どもの様子に注意しています。変容があったときには、その都度、学年部での情報共有・管理職への報告等を行いながら指導を行い、ご家庭にも協力いただいています。気になることがありましたら、学校へ一報をいただければと思います。
支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校に行きにくい子どものサポートルームの充実とコミュニケーションをとつてくださる支援員さんを増やしてほしいです。 ○ 学校に行けない子どものスクールカウンセリングに行けない場合、学校以外の別の場所で受ける仕組みがあれば助かります。 	<p>毎年、支援員さんの増員を要望しています。増員のない場合は、校内で工夫し、一人一人の子どもにサポートできるよう、検討しています。</p> <p>スクールカウンセリングは、勝山中でも対応可能です。また、関係機関での相談なども随時受け付けています。詳しいことが知りたい方は、学校までご連絡ください。</p>
P T A 関係	<ul style="list-style-type: none"> ○ P T A活動をボランティア制にしてほしい。子どもが参加したくないものに、親が役員だからと他に預けることが出来なかつたので無理に参加させました。子どもたちのための活動だとは思いますが、子どもが自分の意思で選ぶように、親も選択できる仕組みにしてもらいたいです。 	P T Aに報告いたします。

教職員	<ul style="list-style-type: none">○ 先生の言葉がきつく萎縮してしまう。言葉遣いに気をつけてほしい。○ たくさんの子どもの前で叱っている先生がいらっしゃいましたが、見ている子ども、叱られている子どものことも考えたら、どこか別場所に移して話をするとかはできなかつたのでしょうか？○ 先生ご自身の気分の上がり下がりで子どもに怒鳴るなど、理不尽なものの言いようがないよう、子どもの言い分も聞いた上で丁寧な対応に努めて頂けますと幸いです。	<p>指導の仕方や場所などについては配慮をしながら行っています。しかしながら、保護者のみなさまからの意見には真摯に受け止めてまいります。今後も子どもにとってよい指導ができるように、教職員としての言動には気をつけ、教育活動を行つてまいります。</p>
-----	--	--